

ICT を活用したリハビリテーションサービス 「デジリハ」体験・講習会(公開講座)

ICT 活用プロジェクトチーム

はじめに

児童生徒の学習・支援に ICT の活用を推進するために本年度は「ICT 活用 PT (プロジェクトチーム)」を設けました。ICT 活用 PT は、情報機器の利用を管理する文化情報部と教員の研修や校内支援を担当する支援研究部からのメンバーで構成され、それぞれの視点から本校での ICT の活用の推進をめざして活動しています。

その一環として、ICT を活用したリハビリテーションサービスである「デジリハ」の導入をするため、サービスの運営母体である株式会社デジリハより講師をお招きして、府下の支援学校や地域の学校園にも声をかけ、校内研修兼夏季休業中の公開講座として「デジリハ」体験・講習会を催しました。

内容

「デジリハ」体験・講習会は、前半は講師からの講義を受ける講習会、後半は実際に「デジリハ」のサービスを使用する体験会として、二部に分けて行ないました。

前半の講習会では、株式会社デジリハの CEO 岡勇樹さんより「デジリハ」の理念、基本的な考え方を基にした実践について VTR を交えながら講義していただきました。

後半の体験会では、「デジリハ」のサービスを使用するセンサーごとに校内 5 か所に分かれて、体験会を行い、参加者はそれぞれの会場を巡る形で体験をすることができました。

「デジリハ」の特徴である利用者に合わせて細かい設定できる点や、楽しみながら機能訓練ができる点などを存分に体感できる時間となりました。

まとめ

「デジリハ」体験・講習会には、本校の教員 46 名、外部より 15 名の参加がありました。終了後のアンケートでは、体験・講習会への好意的な意見が大勢を占め、本校の教員からは自立活動を中心とした実践に取り入れたいという前向きな意見が多くありました。しかし、その半面、機器のセッティングやセンサーの調整の手間、不測の事態の対応への不安感などの意見もありました。

校内で「デジリハ」を活用するにあたっては、教員の不安感が払しょくできるように「デジリハ」への接点を持ちやすい環境づくりとフォローやフィードバックなどができる体制づくりが必要だと思いました。

「デジリハ」とは

「デジリハ」は、体の動きをセンサーで感知してゲームのようなアプリケーションを動かすサービスの集まりで、数種類のセンサーごとにアイデアあふれるアプリケーションが用意されています。プロジェクターで壁に投影された動物に触れるとその動物が動き始めるものや手の動きをカメラで読み取って、画面の中の果物を集めるものなど、ゲーム感覚で楽しみながら体を動かせるようなアプリケーションが用意されています。

利用するには、ネットワークにつながったパソコンとプロジェクターに加えて、別途センサーを用意する必要があります。

